

『未知への挑戦』とくしま行動計画』の変更について

1 概要

令和4年度までの県政運営の指針として、令和元年7月に策定した『未知への挑戦』とくしま行動計画』について、変化する社会経済情勢や多様化する県民ニーズに的確に対応するため、県議会における御論議や第三者機関である「県政運営評価戦略会議」の評価、さらに、総合計画審議会をはじめ、県民の皆様から頂いた御意見を踏まえ、「進化する計画」として令和2年度への改善見直しを行い、2月県議会定例会において議決を頂いた。

2 主な見直し点

長期ビジョン編 ⇒「新たな人口ビジョン」に係る内容を反映

〔時代の潮流・・本県の「将来推計人口」を更新(H30社人研推計へ)
将来ビジョン・・「2060年55万人から60万人超の人口水準確保」を明記〕

中期プラン編 ⇒新総合戦略の「施策の方向性」等を反映

〔・「2030年までに転入転出者数の均衡」を実現
・「若者」や「女性目線」を重視した移住施策等を大阪圏を中心に展開 など

行動計画編

◆「改善見直し」項目 ⇒ 168項目

「改善見直し」の内訳 (R1→R2)			
新規項目	46	⇒	主要事業数 622(+16)
数値目標の修正	43		数値目標数 922(+31)
文言修正	79		

◆各ターゲットごとの主な見直し点

ターゲット1 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

- ・とくしま移住コーディネーター活動地域市町村数 ['22]全市町村（新規項目）
- ・「心のバリアフリー☆アンバサダー」研修認定者数 ['22]年間60人 → 300人
- ・フォスタリング（里親養育包括支援）機関の設置 ['20]設置（新規項目）

ターゲット2 「強靱とくしま・安全安心」の実装

- ・被災地派遣経験を生かした「災害マネジメント総括支援員」「住家被害認定調査職員」の養成（文言修正）
- ・県管理河川（重点対策河川）の整備推進 ['22]80% → 83%
- ・エシカル消費の認知度 ['22]43%（新規項目）

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

- ・5Gを活用した遠隔医療の推進 ['20]中央病院・海部病院間で実施・推進
- ・「世界阿波おどりサミット」の開催を契機とした世界の「阿波おどり連」との連携強化（文言修正）
- ・障がいを持つ方も参加できる関連イベントの開催など、参加者の満足度の高い「とくしまマラソン」の開催（文言修正）

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

- ・「東京2020オリパラ」事前キャンプ誘致数 ['20]4件 → 6件
- ・文化財建造物への防火設備設置数（累計） ['21]20件（新規項目）

ターゲット5 「循環とくしま・持続社会」の実装

- ・プラスチックごみ削減事業者数（累計） ['22]50事業者（新規項目）
- ・新たな「海上交通」の導入に向けた取組み
['19]導入研究 → ['20]～['21]実証運航